

資料 27：医学教育に関する文献目録 〈1994～1997 年度〉

1994 年

- 1) 友吉唯夫：日本の医学教育における sexology の現状と将来の展望。セクシャルサイ 1994, **4**：3-6
- 2) Simon HJ：医学教育に関する国際的なパートナーシップ 横浜市立大学医学部とカリフォルニア大学サンディエゴ校との間の交流プログラム。Yokohama Med Bull 1994, **45**：37-43
- 3) Savoia MC：アメリカの医学教育 挑戦と変革。Yokohama Med Bull 1994, **45**：29-35
- 4) Hori M：日本の医科大学が直面している医学教育の改革 筑波大学での 20 年間の経験について。Yokohama Med Bull 1994, **45**：19-20
- 5) Ojima A：医学教育の改善 日本における歴史と背景。Yokohama Med Bull 1994, **45**：16-18
- 6) 平野 武：医学教育における哲学の在り方 法学者の立場から。医哲学医倫理 1994, **12**：125-131
- 7) 平山正実：医学教育における哲学の在り方 医師の立場から。医哲学医倫理 1994, **12**：118-124
- 8) 岡本天晴：医学教育における哲学の在り方 哲学者の立場から(2)。医哲学医倫理 1994, **12**：111-117
- 9) 岡田雅勝：医学教育における哲学の在り方 哲学者の立場から(1)。医哲学医倫理 1994, **12**：106-110
- 10) 坂岸良克：医学教育における検査医学教育のあり方。Lab Clin Pract 1994, **12**：159-165
- 日内会誌 1995, **84**：1344-1349
- 7) 浅井 篤：臨床医学倫理学教育 米国からの報告。日本内科学会雑誌 1995, **84**：1344-1349
- 8) 坂井哲博, 橋本禎夫, 小谷直樹・他：麻酔科領域における画像診断 医学教育への応用。麻酔 1995, **44**：133-136
- 9) 中野重行, 中村紘一, 小手川勤・他：医学教育の中に「臨床薬理学」をどのように組み込むか? 治験と Informed Consent。臨床薬理 1995, **26**：459-460
- 10) 葛西龍樹, 津田 司：インフォームドコンセント 医学教育・患者教育の課題。からだの科学 1995, **181**：82-86
- 11) 永田勝太郎：医学教育のこれから 態度教育とコミュニケーション・スキル パリント方式による全人的医療教育。Pharma Med 1995, **13**：67-71
- 12) 平山正実：医学教育のこれから 死別体験者への精神的ケア。Pharma Med 1995, **13**：53-57
- 13) 松村豪一：医学教育のこれから 変革を生ませる教育プログラムの開発 ワークショップ形式の基礎医学授業。Pharma Med 1995, **13**：35-41
- 14) 中村健一：地域指向の医学教育を WHO 西太平洋地域医学教育ワークショップに出席して。日本公衆衛生雑誌 1994, **41**：1117-1121
- 15) 岩崎 栄：医学教育のこれから 卒直後の臨床研修教育について 医師の質を高める卒後研修。Pharma Med 1995, **13**：87-91

1995 年

- 1) 真鍋俊明, 八木英俊：アメリカにおけるハイテク技術導入による医学教育と病理業務の変革 II。ベス・イブラエル病院とニューヨーク大学付属病院の実情。川崎医学会誌 1995, **21**：315-322
- 2) 真鍋俊明, 八木英俊：アメリカにおけるハイテク技術導入による医学教育と病理業務の変革 I。ジョージタウン大学医学部の実情。川崎医学会誌 1995, **21**：309-313
- 3) 大滝純司：コミュニケーション上手な医師になる模擬患者 (SP) によるコミュニケーション教育の有用性。JIM 1995, **5**：812-817
- 4) 近藤 均：メディカルヒューマニティーズ教育の充実を模索して 哲学・史学・文学統合教育への試案。医哲学医倫理 1995, **13**：52-60
- 5) 植村研一：新しい臨床医学教育。新潟医学会雑誌 1995, **109**：209-215
- 6) 浅井 篤：臨床医学倫理学教育 米国からの報告。伴信太郎：医学教育のこれから Clinical Clerkship としての臨床実習。Pharma Med 1995, **13**：79-85
- 7) 藤崎和彦：医学教育のこれから 模擬患者による面接技法教育。Pharma Med 1995, **13**：73-78
- 8) 土屋 滋, 戸村成男・他：医学教育のこれから 医学生にとっての看護実習の意義。Pharma Med 1995, **13**：59-65
- 9) 大林雅之：医学教育のこれから バイオエシックス教育のあり方。Pharma Med 1995, **13**：49-52
- 10) 日紫喜光良：医学教育のこれから 医学におけるコンピューター利用学習 (CAI) の将来。Pharma Med 1995, **13**：43-47
- 11) 華表宏有：医学教育のこれから セミナー方式による授業とその評価。Pharma Med 1995, **13**：29-34
- 12) 太田富雄：医学教育のこれから 医学教育の根本的改革 痛みの分かる医師養成。Pharma Med 1995,

13: 25-28

- 23) 土屋健三郎：医学教育のこれから 哲学する医師の養成, *Pharma Med* 1995, **13**: 19-23
- 24) 吉岡守正：医学教育のこれから 医学教育の抜本的改革 5 年目の内省, *Pharma Med* 1995, **13**: 13-17
- 25) 久保千春：特集：21 世紀へ向けての心身医療 医学教育における心身医学の役割, *心身医療* 1995, **7**: 51-54

1996 年

- 1) 多田 功, 伊藤 亮, 長谷川恭子・他：開発途上国の疾病対策に貢献できる医学教育のあり方 (長崎大学熱帯医学研究所 S), 長崎大学熱帯医学研究所共同研究報告集 1996, **1996**: 87-90
- 2) 庄司進一：シミュレーションを加えたロールプレイ型授業からテュートリアル“臨床人間学”へ, *臨床神経学* 1996, **36**: 1343-1344
- 3) 宮石 智：ハンブルク大学における法医学教育について, *法医学の実際と研究* 1996, **39**: 335-340
- 4) 田中文彦：医学部教育に求められるもの 臨床能力, 科学知識, リーダーシップ, *帝京医学雑誌* 1996, **19**: 459-472
- 5) 上畑鉄之丞：医師の卒後公衆衛生教育 国立公衆衛生院の医師の卒後教育 過去, 現在と将来, *公衛研* 1996, **45**: 280-288
- 6) 正林督章：医師の卒後公衆衛生教育 諸外国の School of Public Health 教育の現状, *公衛研* 1996, **45**: 276-279
- 7) 櫃本真一：医師の卒後公衆衛生教育 行政現場から見た公衆衛生医教育, *公衛研* 1996, **45**: 270-275
- 8) 大原啓志：医師の卒後公衆衛生教育 公衆衛生教育従事者からみた保健所医師教育 卒前教育の現状をふまえて, *公衛研* 1996, **45**: 264-269
- 9) 中原俊隆, 望月友美子, 石井敏弘：医師の卒後公衆衛生教育 保健所長としての医師の教育・研修, *公衛研* 1996, **45**: 260-263
- 10) 高原亮治：医師の卒後公衆衛生教育 公衆衛生における卒後教育研修体系, *公衛研* 1996, **45**: 252-259
- 11) 青山英康：医師の卒後公衆衛生教育 大学での卒後公衆衛生教育 公衆衛生連合大学院構想の経過, *公衛研* 1996, **45**: 246-251
- 12) 西田茂樹, 揚松龍治, 佐々木健・他：医師の卒後公衆衛生教育 公衆衛生医の卒後教育研修の現状, *公衛研* 1996, **45**: 240-245
- 13) 吉村 学, 藤田直久, 羽瀧義純：医学部の学生教育 京都府立医科大学における臨床検査医学教育, *Lab*

Clin Pract 1996, **13**: 146-149

- 14) 岡部紘明：医学部の学生教育, *Lab Clin Pract* 1996, **13**: 142-145
- 15) 青木照明：21 世紀へ向けての外科 卒後臨床研修と外科, *外科診療* 1996, **38**: 1405-1410
- 16) 松瀬 健：大学における老年医学教育のあり方に関する研究 大学における老年医学教育のあり方に関する研究 (わが国と英国をはじめとする諸外国の老年卒前医学教育のアンケート調査による比較検討) (厚生省 S), 長寿科学総合研究 1996, **1995**: 166-170
- 17) 袴田康弘, 北 徹, 小沢利男・他：大学における老年医学教育のあり方に関する研究 大学における老年医学教育に関する研究 医学部学生の老年学・老年医学についての意識調査に関する研究 第 2 報 (厚生省 S), 長寿科学総合研究 1996, **1995**: 155-161
- 18) 袴田康弘, 若月芳雄, 小沢利男・他：大学における老年医学教育のあり方に関する研究 大学における老年医学教育に関する研究, III-1 医学部学生の老年学・老年医学についての意識調査に関する研究 第 1 報 (厚生省 S), 長寿科学総合研究 1996, **1995**: 149-154
- 19) 蟹沢成好：大学における老年医学教育のあり方に関する研究 老年病理学の教育の現状について (厚生省 S), 長寿科学総合研究 1996, **1995**: 145-148
- 20) 林 潤一：大学における老年医学教育のあり方に関する研究 老年医学教育について老年医学講座担当教授の現状認識と将来展望 (厚生省 S), 長寿科学総合研究 1996, **1995**: 162-165
- 21) 深沢俊男：大学における老年医学教育のあり方に関する研究 大学における老年医学教育の日米の比較 (厚生省 S), 長寿科学総合研究 1996, **1995**: 141-144
- 22) 山本和儀：精神障害に対する態度・偏見と文化 精神障害に対する医学生の態度の形成 医学教育の場における国際比較, *日本社会精神医学会雑誌* 1996, **5**: 129-135
- 23) 泉 信夫：卒後教育 診療記録の書き方 (II), *小児科* 1996, **37**: 1517-1521
- 24) 北澤 実, 金子義郎, 白鳥倫治：自作ソフトを中心としたパーソナルコンピュータの臨床実習への応用 コンピュータの臨床実習への応用とその反応, *日大医誌* 1996, **55**: 621-626
- 25) 小野 繁：医学教育に思う, *岩手医誌* 1996, **48**: 531-541

- 26) 真鍋俊明：現代アメリカ病理事情 7 アメリカの医学と医学教育の歴史。病理と臨床 1996, **14** : 1325-1326
- 27) 蟹沢成好, 入来正躬, 小沢利男・他：大学における老年医学教育の在り方に関する研究 病理学教育における老化・老年医学教育の現状と将来展望。日老医会誌 1996, **33** : 686-691
- 28) 宮石 智：ハンブルク大学における法医学教育について。法医の実際と研 1996, **39** : 335-340
- 29) 蟹沢成好, 入来正躬, 小沢利男・他：大学における老年医学教育の在り方に関する研究 病理学教育における老化・老年医学教育の現状と将来展望。日本老年医学会雑誌 1996, **33** : 686-691
- 30) 神津忠彦：問題解決型学習とテュートリアル。日歯医教会誌 1996, **12** : 18-23
- 31) 尾島昭次：医師卒後臨床研修の問題点。日歯医教会誌 1996, **12** : 12-17
- 32) 真鍋俊明, 八木英俊：アメリカにおけるハイテク技術導入による医学教育と病理業務の変革 ベス・イブズラエル病院とニューヨーク大学付属病院の実情。川崎医会誌 1996, **21** : 315-322
- 33) 真鍋俊明, 八木英俊：アメリカにおけるハイテク技術導入による医学教育と病理業務の変革 ジョージタウン大学医学部の実情。川崎医会誌 1996, **21** : 309-313
- 34) 竹之内直人, 安部愛子, 村井ヨリコ・他：医学教育に果たす保健所の役割に関する研究。四国公衆衛生学会雑誌 1996, **41** : 94-97
- 35) 松瀬 健, 福地義之助, 袴田康弘・他：大学における老年医学教育のありかたに関する研究卒前老年医学教育の国際比較文献的検討。日本老年医学会雑誌 1996, **33** : 540-546
- 36) 小川秀道：心肺蘇生法教育 旭川医科大学における蘇生学の教育。蘇生 1996, **14** : 144-146
- 37) 袴田康弘, 若月芳雄, 小沢利男・他：大学における老年医学教育に関する研究 医学部学生の老年学・老年医学についての意識調査に関する研究 (第2報)。日本老年医学会雑誌 1996, **33** : 452-459
- 38) 袴田康弘, 若月芳雄, 小沢利男・他：大学における老年医学教育に関する研究医学部学生の老年学・老年医学についての意識調査に関する研究 (第1報)。日本老年医学会雑誌 1996, **33** : 444-451
- 39) 田中文彦：医学部教育に求められるもの 臨床能力, 科学知識, リーダーシップ。帝京医誌 1996, **19** : 459-472
- 40) 松瀬 健, 福地義之助, 小沢利男・他：大学における老年医学教育のありかたに関する研究 卒前老年医学教育の国際比較文献的検討。日老医会誌 1996, **33** : 540-546
- 41) 中野次郎：米国における内科研修医教育制度について (2)。いずみ 1996, **43** : 16-19
- 42) 林 潤一, 入来正躬, 秦 葭哉・他：大学における老年医学教育のあり方に関する研究 老年学・老年医学講座の担当教官の老年学・老年医学教育についての意識調査。日老医会誌 1996, **33** : 384-392
- 43) 小澤利男, 入来正躬, 深沢俊男・他：大学における老年医学教育のあり方に関する研究 大学における老年医学教育の現状と将来展望。日老医会誌 1996, **33** : 378-383
- 44) Usta A, Oensel V, Dergin C : 医学教育のための人工骨模型製作の新法。Okajimas Folia Anat Jpn 1996, **73** : 143-144
- 45) 近藤功行：医療系の学生教育における終末期ケア地域調査を通して学生に伝えること。旭川荘研究年報 1996, **27** : 28-33
- 46) 三輪 剛：内視鏡医の教育 日本消化器内視鏡学会の卒後教育事業とその将来。日医師会誌 1996, **116** : 37-39
- 47) 綿貫 勤・他：医学教育をめぐって。医と医療 1996, **353** : 1-8
- 48) 篠塚雅也：研修医のメンタル・ヘルス。JIM 1996, **6** : 608-609
- 49) 青野 允, 小田切徹太郎, 勝屋弘忠・他：心肺蘇生法教育に関する実態調査報告。麻酔 1996, **45** : 774-781
- 50) 戸田芳雄：心肺蘇生法教育に関する文部省の施策。蘇生 1996, **14** : 56-58
- 51) 桜井 勇：医学校の入学選抜 どのような学生を選抜すべきか。教と医 1996, **44** : 521-529
- 52) 齋藤基一郎, 藤田華奈子, 時山響子：医療専門職の総合教育システムの研究 医療教育, 殊に人体解剖学におけるマルチメディアの利用。医療とコンピュータ 1996, **7** : 539-545
- 53) 丸山孝一：こんな医師を望む 期待する医師像 医学教育に期待するもの 文化人類学の立場から。教と医 1996, **44** : 492-498
- 54) 高林克日己：内科系卒後臨床研修の方向。JIM 1996, **6** : 650-651
- 55) 高木 誠：卒後臨床研修へのアドバイス 総合診療を指向する 卒後臨床研修アンケート結果。JIM 1996, **6** : 632-633
- 56) 藤沼康樹：卒後臨床研修へのアドバイス 臨終の立ち会い方。JIM 1996, **6** : 617-618
- 57) 山崎俊司：卒後臨床研修へのアドバイス 文献検

- 索のしかた インターネット, コンピュータの技法, *JIM* 1996, **6**: 616-617
- 58) 川越正平: 卒後臨床研修へのアドバイス 他科コンサルテーションのしかた, *JIM* 1996, **6**: 615
- 59) 浅井登美彦: 卒後臨床研修へのアドバイス 医療紛争に巻き込まれないために, *JIM* 1996, **6**: 613-614
- 60) 神谷到留: 卒後臨床研修へのアドバイス 症例プレゼンテーションのしかた, *JIM* 1996, **6**: 612-613
- 61) 林 純: 卒後臨床研修へのアドバイス 患者さんに対する接し方, *JIM* 1996, **6**: 611
- 62) 岩井くに: 卒後臨床研修へのアドバイス コメディカルとの接し方, *JIM* 1996, **6**: 610
- 63) 川田諭一: 卒後臨床研修へのアドバイス 総合診療を指向する 研修医のアルバイト 問題点と改善点, *JIM* 1996, **6**: 607-608
- 64) 磯野可一: 卒後臨床研修へのアドバイス 総合診療を指向する 卒後臨床研修の問題を考える大学病院の立場から, *JIM* 1996, **6**: 605-606
- 65) 伊賀六一: 卒後臨床研修へのアドバイス 総合診療を指導する 臨床研修制度の必修化をめぐる問題点, *JIM* 1996, **6**: 603-604
- 66) 小泉俊三: 卒後臨床研修へのアドバイス 総合診療を指向する わが国の卒後臨床研修 半世紀の歩み, *JIM* 1996, **6**: 600-602
- 67) 植村研一: 卒後臨床研修へのアドバイス 総合診療を指導する “On Site (現場での)” トレーニングの教育原理, *JIM* 1996, **6**: 598-599
- 68) 伴信太郎: 卒後臨床研修へのアドバイス 総合診療を指向する 指導医の役割とノウハウ, *JIM* 1996, **6**: 592-596
- 69) 岩崎 榮: 卒後臨床研修へのアドバイス 総合診療を指導する 研修目標達成のための研修方式の種類と特徴, *JIM* 1996, **6**: 590-591
- 70) 松村真司: 卒後臨床研修へのアドバイス 総合診療を指向する 臨床研修のしかた, *JIM* 1996, **6**: 586-589
- 71) 福井次矢: 卒後臨床研修へのアドバイス 総合診療を指向する すべての初期研修医に求められる知識・技術とは何か, *JIM* 1996, **6**: 582-584
- 72) 高木 誠: 卒後臨床研修へのアドバイス 総合診療を指向する 初期研修のオリエンテーション, *JIM* 1996, **6**: 579-581
- 73) 今中孝信: 卒後臨床研修へのアドバイス 総合診療を指向する “落ちこぼれる” 研修医と “だめな” 指導医, *JIM* 1996, **6**: 576-578
- 74) 武田裕子 [山下]: 外国の医学教育, 教と医 1996, **44**: 537-543
- 75) 波平恵美子: 「高齢者社会」再考と医学教育の再検討, 教と医 1996, **44**: 530-536
- 76) 植村研一: 今, 医学教育はどう変わりつつあるか 医学教育改革の試み, 教と医 1996, **44**: 513-520
- 77) 平成 5, 6 年度日本小児外科学会教育委員会: 小児外科の卒前教育に関するアンケート調査結果報告, 日小児外会誌 1996, **32**: 83-87
- 78) 千葉胤道: 医学教育改革に関する 2, 3 の考察, 千葉医誌 1996, **72**: 33-37
- 79) 原 宏: 輸血医学における卒前教育改善の必要性, 日本輸血学会雑誌 1996, **42**: 69-73
- 80) 河野博臣: 期待する医師像と医学教育 こんな医師を望む一期待する医師像 医師の立場から, 教育と医学 1996, **44**: 499-506
- 81) 小林信秋: 期待する医師像と医学教育 こんな医師を望む一期待する医師像 親たちの願い, 教育と医学 1996, **44**: 480-487
- 82) 西園マールハ文: 期待する医師像と医学教育 女性医師という存在, 教育と医学 1996, **44**: 544-550
- 83) 武田裕子: 期待する医師像と医学教育 外国の医学教育, 教育と医学 1996, **44**: 537-543
- 84) 松岡 緑: 期待する医師像と医学教育 こんな医師を望む一期待する医師像 望ましい医師像一看護婦からの提言, 教育と医学 1996, **44**: 507-512
- 85) 大井智香子: 期待する医師像と医学教育 こんな医師を望む一期待する医師像 家族の立場から, 教育と医学 1996, **44**: 488-491
- 86) 松尾信彦: 21 世紀の眼科医療 21 世紀の医学教育と医学情報交換の動向, 日本の眼科 1996, **67**: 33-40
- 87) Kim YM: 韓国における医学教育 耳鼻咽喉科学頭頸部外科における現在と将来, *Auris Nasus Larynx* 1996, **23**: S 18-S 25
- 88) 福永幹彦, 中井吉英, 藤崎和彦・他: 本学における医療行動科学教育と心身医学, 心身医 1996, **36**: 267-272
- 89) 斎藤清二, 北啓一朗: 医学部卒前カリキュラムにおける心身医学的教育 特にカウンセリング的病歴聴取法の教育の意義について, 心身医 1996, **36**: 261-266
- 90) 大石光雄, 中島弘徳, 田中 明・他: 心身医学的教育のあり方 医療機関における現状からの検討, 心身医 1996, **36**: 255-259
- 91) 野村 忍, 久保木富房, 俵里英子・他: 心身医学的教育の現状と展望, 心身医 1996, **36**: 249-254
- 92) 稲光哲明, 久保千春: 心身医学の卒前教育のあり

- 方, 心身医 1996, **36**: 243-248
- 93) 華表宏有: 公衆衛生学授業における学外実習の教育的効果 筑豊地区見学実習の事例 (1981-89 年度), 日公衛誌 1996, **43**: 68-74
 - 94) 中村 薫: 医学教育, 卒後研修からみた一断面, 臨看 1996, **22**: 384-387
 - 95) 華表宏有: 卒前医学教育における公衆衛生学の教育目標の課題, 日本公衆衛生雑誌 1996, **43**: 175-182
 - 96) 小池麒一郎: リカレント教育の再考 医師の生涯教育, 教と医 1996, **44**: 225-231
 - 97) 木阪昌知: 医学倫理教育のすすめ, 日歯医教会誌 1996, **11**: 220-226
 - 98) 畑尾正彦: 医学教育における臨床実習, 看教 1996, **37**: 121-125
 - 99) 華表宏有: 卒前医学教育における公衆衛生学の教育目標の課題, 日公衛誌 1996, **43**: 175-182
 - 100) 吉田 修: 臨床研修制度の改善 特に大学病院と関連病院との連携について, 病院 1996, **55**: 132-134
 - 101) 堀 原一: 医師養成・医師国家試験と評価の問題点, 教と医 1996, **44**: 152-158
 - 102) 千葉胤道: 医学教育改革に関する 2, 3 の考察, 千葉医学雑誌 1996, **72**: 33-37
 - 103) 山本晴義: 心身医療の将来像 医学教育と心身医療 生涯教育, 心身医療 1996, **8**: 20-25
 - 104) 吾郷晋浩, 石川俊男: 心身医療の将来像 医学教育と心身医療 卒後教育, 心身医療 1996, **8**: 15-19
 - 105) 村上典子: 心身医療の将来像 医学教育と心身医療 学生セミナー(全人的医療を考える会), 心身医療 1996, **8**: 26-30
 - 106) 稲光哲明, 久保千春: 心身医療の将来像 医学教育と心身医療 卒前教育, 心身医療 1996, **8**: 9-13
 - 107) 中村 薫: 現代医療への想い 65 医学教育, 卒後研修からみた一断面, 臨床看護 1996, **22**: 384-387
 - 108) 伴信太郎, 津田 司, 田坂佳千・他: 臨床研究 卒後臨床教育における客観的臨床能力試験 (OSCE) の経験, JIM 1996, **6**: 67-72
 - 育 情意教育カリキュラムの概要, 保団連 1997, **555**: 34-37
 - 4) 神津忠彦: 新しい医学教育, 医と医療 1997, **367**: 1-7
 - 5) Ishizawa Yumiko: カンボジアにおける医師に対する持続的教育プログラムへの計画循環運営の適用, Int Med J 1997, **4**: 199-203
 - 6) 品川信良: 医の倫理教育 その過去, 現在及び未来, 医哲学医倫理 1997, **15**: 107-118
 - 7) 三谷正信, 名取 博: 遠隔医療と院内 PACS 遠隔医療の臨床教育活用, 新医療 1997, **24**: 75-78
 - 8) 宮野佐年: リハビリテーション教育に今何が求められているか 指導医からみた卒後教育 後期研修について, リハ医 1997, **34**: 482-483
 - 9) 豊倉 穰, 村上恵一: リハビリテーション教育に今何が求められているか 医学部生から見たリハ卒前教育, リハ医 1997, **34**: 479-481
 - 10) 千野直一: リハビリテーション教育に今何が求められているか 卒後教育一後期研修において, リハ医 1997, **34**: 476-479
 - 11) 田中信行: リハビリテーション教育に今何が求められているか 卒後教育一初期研修一の目標と課題, リハ医 1997, **34**: 473-476
 - 12) 中村隆一: リハビリテーション教育に今何が求められているか 卒後教育に関する社会情勢, リハ医 1997, **34**: 470-472
 - 13) 明石 謙, 伊勢真樹: リハビリテーション教育に今何が求められているか リハビリテーション医学の卒前教育 私立医科大学の立場から, リハ医 1997, **34**: 467-470
 - 14) 加倉井周一: リハビリテーション教育に今何が求められているか リハビリテーション医学卒前教育 国立大学の立場から, リハ医 1997, **34**: 464-467
 - 15) 柴田純一: 新しい看護研修 医学生への看護体験実習, 看実践の科学 1997, **22**: 43-46
 - 16) 黒川 清: 医療システムと医療の質 医学教育はどのように改められるべきか, からだの科学 1997, 医療改革増刊: 98-103
 - 17) 香取 瞭: 医学教育を考える, 近畿大医誌 1997, **22**: 1-6
 - 18) 松橋有子: 思春期の医療—基礎と進歩 I 医学教育・卒後研修における思春期の医療, 小児内科 1997, **29**: 529-533
 - 19) 小川治夫: 思春期の医療—基礎と進歩 I 思春期外来の現状, 小児内科 1997, **29**: 527-528
 - 20) 石出猛史, 赤坂 武, Ally A: 米国北東部における医学教育と循環器医療について, 千葉医学雑誌

1997 年

- 1) 三瀬順一: プライマリ・ケアにおける小児科医 卒前・卒後教育, プライマリ・ケア 1997, **20**: 221-225
- 2) 津山 薫, 福林 徹, 宮永 豊・他: 大学におけるスポーツ医学教育のあり方について 日本臨床スポーツ医学会会員の調査より, 日体大紀 1997, **27**: 1-9
- 3) 植村研一: 【医師と患者の実践的コミュニケーション】 浜松医科大学におけるコミュニケーション教

- 1997, **73**: 97-100
- 21) 熊坂一成: わが国の臨床病理学 臨床病理学の医学教育カリキュラム. *Mod Media* 1997, **43**: 265-269
- 22) 吉原幸治郎, 河野 宏, 鐘ヶ江寿美子・他: 医学生の外來臨床実習と患者の受容度に関する予備的調査. 総合診療研究会誌 1997, **2**: 24-29
- 23) 小原 博: ネパールの医療事情と医学教育プロジェクト. 熱帯 1997, **30**: 1-6
- 24) 高柳和江, 岩崎 榮: 卒前医学教育における患者医師関係と死の教育. 病院管理 1997, **34**: 21-30
- 25) 横井豊治, 中村美砂, 覚道健一: 情報処理 パソコンを利用した病理診断学の少人数学生教育の試み. 病理と臨 1997, **15**: 159-162
- 26) 高階雅紀, 上山博史, 中田精三・他: 手術医学教育における学生臨床実習のあり方への模索. 日本手術医学会誌 1997, **18**: 239-241
- 27) 田中 勲: 胸部外科の卒前・卒後教育. 胸部外科 1997, **50**: 30-39
- 28) 香山雪彦: 医学教育の新しい試み: 福島県立医科大学における生理系コースに関する3年間のまとめその2. 神経生理学に学生によるセミナーを取り入れて. 日本生理学雑誌 1997, **59**: 93-97
- 29) 石井成克, 裏田和夫: 医学教育におけるプラスチックネーション標本の役割. 医図書館 1997, **44**: 104-106
- 30) 阿曾佳郎: 臨床研修病院の指定と臨床研修の問題点. 全国自治体病協誌 1997, **346**: 59-63
- 31) 亀山敦之, 湊小太郎, 小森 優・他: 大学医学部間ハイビジョン遠隔講義支援システムの開発. 医療情報学 1997, **17**: 119-123
- 32) 吉原幸次郎, 河野 宏, 鐘ヶ江寿美子・他: 医学生の外來臨床実習と患者の受容度に関する予備的調査. 総合診療研究会誌 1997, **2**: 24-29
- 33) 寺島芳輝: わが国の卒後臨床研修ならびに生涯教育の現状と展望. 東京医師会誌 1997, **49**: 1485-1497
- 34) 小原 博: ネパールの医療事情と医学教育プロジェクト. 熱帯 1997, **30**: 1-6
- 35) 上田 智, 格和勝利, 藤原佳代: 病院におけるマルチメディア 教育・研修の支援. 病院 1997, **56**: 225-227
- 36) 竹内昭博: 電子教科書の現在. 新医療 1997, **24**: 63-65
- 37) 植村研一: 医学教育学の視点からみた看護婦(士)国家試験の問題点と改善策. 看教 1997, **38**: 12-15